



明けましておめでとうございます 寿



已

2025年  
(令和7年)

第392号

# BOB会 関東支部 だより

# JTBグループ OB・OG会 関東支部

〒110-0005 東京都台東区上野1-10-12 商工中金・第一生命上野ビル7階  
電話 03-6284-4875 FAX 03-6284-4876  
関東支部ホームページアドレス [https://jtbob.com/kanto\\_hp/wp/](https://jtbob.com/kanto_hp/wp/)

1

発行：BOB会関東支部

域戦争の激化など心を痛める出来事が頻発し、観光業界にとつて好ましくない状況が続いています。また、デジタル化の進捗に伴い、旅行業界は大きく変わらなければならぬ状況に直面しています。

そこで、JTB応援運動も、店頭での旅行申し込みだけではなく多角的にJTBグループを応援しさらに会員にもメリットがあるよう仕組み作りが必要と、取り組みを始めたところです。決まったことから順次、支部だよりやホームページでご案内する予定です。

会員福祉の面でも、慣例にとらわれず、私達の生活に有用な情報の提供などに努めてまいります。

登録に関し、お手数をおかけしましたことにお詫びと御礼を申し上げます。申し込み期限は昨年末となつておりましたが、諸事情でまだお済みでない方は、できるだけ早めにお手続きいただきますようお願い申し上げます。なお、ご不明な点がございましたら、事務局へお問い合わせをお願いします。

関東支部長 西山 恒夫

新年のご挨拶

恒例の忘年懇親会が、「新緑のつどい」と同じく、KKRホテル東京において開催されました。今年の参加者は103名。会場からの皇居・お濠を見渡せる眺望の素晴らしさに、参加者の皆様の中から感嘆の声が漏れ聞こえました。

今回は立食ビュッフェスタイルで、部屋の周りに椅子も用意しましたが、お仲間同士で立つたままの会話が花盛りのためか、椅子席の空きが目立ちました。皆さん、1年ぶりの再会を大いに楽しんでいました。

**忘年懇親会新会場にて開催  
11月28日 103名参加**



理事・監事・事務局員一同

また親睦活動は、地区俱乐部や同好会活動を引き続きサポートしてまいります。

0.2%、営業利益53%（共に前年比）と数値は良く見えるが、予算が下期に大きいので非常に厳しい個人旅行はコロナ禍後、部屋代などの料金が変動するダイナミックパッケージ型商品が主流となり、申し込みはウェブにシフト。JTBはそれに対応するよう取り組んでいた」との報告がありました。

A medium shot of a man in a dark suit, white shirt, and patterned tie. He is wearing glasses and has short dark hair. He is standing behind a podium with a microphone, looking slightly to his left with a neutral expression.

開会にあたり西  
山恒夫支部長より  
挨拶があり、参加  
への謝意と、BO  
B会年会費引き落

海藤正広	加藤俊明	中村卓司	上村康夫	栗林泰夫	九郷臣二	小関誠	小見山進	酒井政子	茂原史則	清水紘一	須藤稔	杉田成次	瀧田賢二	田中倫彦	飛田浩	中島嘉秋	新倉武一
河村元	国松千恵子	孝学美彦	小林富子	斎藤勇夫	坂田光行	篠崎雅士	下山雄二	高橋節子	鈴木泰夫	田中君子	田中左右吉	多賀谷恵三	遠山洋	長嶋節子	長戸敬子	二階堂普二	片山郁夫
嵩	倉持忠彦	河野雅之	小見山久美子	齋藤和夫	佐々木光也	島田稔	杉孝	鈴木憲治	永作房江	田中哲雄	田中正次郎	田部井正次郎	田部井正次郎	田部井正次郎	田部井正次郎	金政初美	
北村嵩	倉持忠彦	河野雅之	小見山久美子	齋藤和夫	佐々木光也	島田稔	杉孝	鈴木憲治	永作房江	田中君子	田中左右吉	多賀谷恵三	遠山洋	長嶋節子	長戸敬子	二階堂普二	片山郁夫
元	國松千恵子	孝学美彦	小林富子	斎藤勇夫	坂田光行	篠崎雅士	下山雄二	高橋節子	鈴木泰夫	田中君子	田中左右吉	多賀谷恵三	遠山洋	長嶋節子	長戸敬子	二階堂普二	片山郁夫



◆出席者（敬称略）

西山隆夫	西山恒夫	根本孝夫
野口正太郎	野崎正治	浜名誠一
濱野キヨ子	針谷美貴江	平尾政彦
平山正徑	深川三郎	藤ヶ崎健一
藤田 勝	藤本雅子	藤本 誠
船山龍二	堀口 真	松井浩一
松代洋子	丸田孝明	森 英一
森木茂子	森下康子	森田眞弓
八木沼豊	安田 彰	矢部和郎
山崎千恵子	山下芳夫	山田武久
湯浅理恵	横田千賀子	吉岡光昭
鷲澤典子		

※表記は申込ハガキどおり。

### JTBグループ応援運動上期実績

JTBグループ応援運動へのご協力ありがとうございます。

最新の実績10月累計は、次のとおりです。

### ○旅行「店舗+Web」(前年比)

件数=106件(78%)

金額=1106万円(71%)

○ギフト+おせち(前年比)

件数=91件(102%)

金額=508万円(71%)

その他、団体のお客様のご紹介等ありがとうございます。

引き続き、後輩達の応援をよろしくお願いします。

## 第3回新入会員歓迎昼食会

### 新春早々に開催します

第3回となります歓迎昼食会を開催いたします。

新入会員の皆さんが有意義にBOB会を活用できるようオリエンテーションをさせていただくとともに、文字どおり、入会を歓迎する昼食会を用意しております。今までの開催にても、BOB会

の理解が深まり、また新入会員と親睦が図られたと大変好評です。

対象は、2022年7月~2024年9月入会の方です。既にお申し込みをいただいておりますが、今からでも受け付けます。

申し込みをいただけますが、

今からでも受け付けます。

申し込みをいただけますが、

会場

京寄り) 9時40分  
担当が会場まで案内します。  
かながわ県民センター304  
会議室(横浜駅西口徒歩5分)

定員 045(312) 1121  
会費 1000円  
主催 湘南俱楽部  
担当 栗田 保

☎ 080(5388) 9916  
鍛治 栄一

☎ 090(4745) 8541  
上毛かるたに「京都前橋生糸の  
市」と謳われた、水と緑と詩のま  
ち前橋探訪です。

最新スポット「ばばつかわスク  
エア」、萩原朔太郎ゆかりの前橋  
文学館、国の重要文化財である臨  
江閣、33階154mの高さを誇る  
群馬県庁、前橋藩酒井公が眠る龍  
海院を半日かけて歩きます。徳川  
家康公に「関東の華」と言わしめ  
た城下町「前橋」で皆様のご参加  
を心よりお待ちしております。

期日 3月27日(木)  
集合 JR前橋駅 9時  
行程 前橋駅→前橋文学館(萩原  
朔太郎記念館)→原嶋屋総  
階(昼食)→龍海院→前橋  
駅(15時頃解散)

## 俱楽部だより

**武蔵野俱楽部の観桜散策会**

(報告)

春と言えば桜。武蔵野俱楽部で  
は今年も多摩地区または奥多摩地  
区の桜を見る会を企画します。詳  
細は支部だより3月号で発表しま  
す。左記催行日でご予定ください。

期日 3月28日(金)  
主催 武蔵野俱楽部  
担当 小川 元

第10回にいがた街歩き(報告)  
今回街歩き『紅葉の弥彦神社  
ともみじ谷巡り』は、11月13日、  
少し遠出して越後線弥彦駅からス  
タート。18名の参加で晚秋の青空  
の下、紅葉で名高い弥彦公園もみ  
じ谷と越後一宮弥彦神社を歩きました。今年の紅葉は夏の熱波で例  
年より多少劣りましたが、観月橋  
からの眺めは必見でした。

11月11日、秋晴れの中、常陸秋  
蕎麦の産地、常陸太田で開催しま  
した。参加者は11名:初めての人、  
ベテランの人、力づくの人:楽し  
く賑やかなひと時でした。蕎麦粉  
7割と小麦粉3割を合わせた二八  
番

止。昨年は「宴」途中の大雨で中  
止。昨年は雨に祟られ開催すらで  
きませんでした。しかし、今年は  
大丈夫!満開の桜の下で食べ、  
飲み、多くのお仲間とおしゃべり  
に花を咲かせ、爛漫の春を楽しみ  
ませんか。

期日 3月27日(木)  
場所 大宮公園護国神社石鳥居前  
会費 2000円(おにぎり・お  
つまみ等食べ物・飲み物込)

主催 さきたま俱楽部  
担当 野口正太郎

## 武蔵野俱楽部の観桜散策会

(報告)

期日 3月28日(金)  
主催 武蔵野俱楽部  
担当 小川 元

ならぬ三七蕎麦(二八ですとバラ  
になりやすいので...)。じつ  
くりこねて伸ばして、蕎麦らしい  
太さに切るのが難しい!試食は  
地元産の野菜天ぷらで:蕎麦は、  
味よし形よし?美味しく食べました。  
参加者は若干少なかつたですが、  
楽しい秋の一日を過ごすことができ  
ました。(池田 記)

バラになりやすいので...)。じつ  
くりこねて伸ばして、蕎麦らしい  
太さに切るのが難しい!試食は  
地元産の野菜天ぷらで:蕎麦は、  
味よし形よし?美味しく食べました。  
参加者は若干少なかつたですが、  
楽しい秋の一日を過ごすことができ  
ました。(池田 記)

と新鮮なお刺身に舌鼓。  
午後は、菊まつり開催中の弥彦  
神社参拝、門前土産店での買い物、  
足湯に浸かるなど、各自で弥彦路  
を堪能した一日でした。(谷 記)

最後にボーリング777をバッ  
クに集合写真を撮り、JALの皆  
さんに手を振って見送られ、整備  
場を後にしました。

見学場所の変更・道路渋滞等の  
ハプニングがありましたが、大変  
満足な充実した「社会科見学」を  
体験することができました。

(落合 記)



金砂ふるさと体験交流施設「かなさ笑楽校」にて



弥彦公園もみじ谷にて



弥彦公園もみじ谷にて

## 北関東俱楽部

懐かしの社会科見学(国会議事堂  
とJAL羽田機体整備工場)(報告)

11月14日、爽やかな晴天の下、  
切バスにて東京に向け出発。特別  
参加者20名(他俱楽部3名)は貸  
切バスにて東京に向け出発。特別  
に国会開会中のため国会議事堂は見  
学できず、代わりに日本銀行貨幣  
博物館を見学。お金の歴史の勉強  
になりましたし、1億円の重さも  
体験できました。その後、羽田空  
港へ。国際線ターミナルで各自昼  
食と買い物を楽しみました。

JAL整備工場ではJALの担  
当者に迎えられ、まずスカイミュ  
ージアムを見学。初めて見るコッ  
クピットに感激、またCAさんの制  
服の歴史など楽しく学びました。

服を試着して写真を撮ることがで  
きました。次の機体整備工場では  
2班に分かれて見学。格納庫の広  
さにびっくり、整備をしている飛  
行機の大きさにまたまたびっくり。

最後にボーリング777をバッ  
クに集合写真を撮り、JALの皆  
さんに手を振って見送られ、整備  
場を後にしました。

見学場所の変更・道路渋滞等の  
ハプニングがありましたが、大変  
満足な充実した「社会科見学」を  
体験することができました。

(落合 記)



中山道(その壱)(報告)

## 東京23俱楽部

「街歩きシリーズ」ゆっくり歩く  
中山道(その壱)(報告)

11月15日、日本橋道路元標前に  
26名の参加者が集合、3班に分か  
れ、途中離団者もなく、本郷三丁  
目まで予定の3kmを完歩しました。  
ボランティアガイドさんの丁寧  
な解説と同世代の親しみに満ちた  
交流で、ほぼ時間どおりに加賀藩

上屋敷（東大医学部）に到着。イタリアンのランチで会員同士の親睦をさらに深めました。

8年前の中山道の企画では板橋宿までの12kmが1回目でしたが、今回は3kmの距離が参加の方々の平均年齢上昇とリンクしたと思します。

皆さんありがとうございました。そして次回（その式）からの参加の方も大歓迎します。（野萩記）



東大構内にて

「讃」の2枚の扁額が見ものだ。境内には埼玉県で最古と言われる芭蕉の句碑もある。参拝後、昼食に向かう。

秩父市内の武藏屋本店で「セイロ・茶飯セット」をいただく。電車とバスを乗り継いで札所巡り最後の寺34番札所水潜寺へ。当寺は秩父札所霊場打ち納めの札所、また百観音霊場の結願寺。

今回札所巡りに8回34寺結願したのは4名でした。（中島記）



34番札所水潜寺にて

の反省点を中心とした練習を半日行い、充実した強化合宿になりました。

成績は次のとおり（敬称略）。

優勝	大伴哲夫・内山登喜子組
準優勝	増田信・星野マチ子組
3位	林守・小仁所進組
	（宮本記）

人生の大切な節目である「終活」。けれども、「何から手をつけたらいいのかわからない」と悩み、先延ばしにしてしまう方も多いのではないかでしょうか。漠然とした不安が心に重くのしかかるのも無理はありません。

私は行政書士として、相続や遺言のご相談にお応えする一方で、「明るい不動産」の代表として、ご自宅やご実家の処分、空き家の売却、不動産管理まで幅広くサポートしています。不動産と終活が絡み合う複雑な課題にも、安心して一括でご相談いただける体制を整えています。

終活を始めることで、心の中にある不安が一つひとつ見えてきます。そして、それを乗り越えるたびに、気持ちが軽くなり、残された時間をもっと充実させることができます。私の願いは、このサポートを通じて皆様の人生をより豊かなものにするお手伝いをすることです。残された時間は思いのほか短いかもしれません。今年一年にしませんか。

## 会員だより

「終活サポートで実現する、あなたの  
らしい未来」  
湘南 高橋 耕二

10月

【JTBグループ応援運動  
ご協力いただきました】

敬称略

◆旅行（出発分）◆

五十嵐隆	石川寛巳	入江貞夫
小曾根利文	覚張周三	小見山進
齊藤寛子	鈴木泰夫	戸倉高
中村武夫	前川隆	

◆ナイスギフト◆

岩瀬正夫	植田伊三郎	小林哲二
塩野ますみ	鈴木茂芳	曾我和恵
田口典子	田中雄次郎	中島嘉秋
野口正太郎	水野敏博	

◆おせちの鉄人◆

井上恵司	国松千恵子	駒野紀雄
酒井政子	曾我和恵	中島嘉秋
林守	松井文雄	

## お詫び

支部だより12月号の新入会員ご紹介欄の中で、斎藤清さんのお名前の表記に誤りがありました。深くお詫び申し上げます。

## お知らせ

### 計

### 報

杉本 秀道さん（95歳）  
令和6年5月29日

岩瀬 一雄さん（81歳）  
令和6年10月19日

吉元さん（91歳）  
令和6年11月16日

令和6年11月20日  
（81歳）

（92歳）  
令和6年12月1日

（91歳）  
令和6年12月1日

謹んで心から  
お悔やみ申し上げます。

秩父札所巡り（第8回最終回）  
(報告)

11月20日、曇り時々雨の中、14名（他俱楽部4名）で秩父駅を元気に出発。泉田で下車し33番札所菊水寺に向かう。途中「ようばけ」と呼ばれる崖が見えてくる。夕日が当たると岩肌がオレンジ色に染まり、農家の人々は終業の目安にしたという。

菊水寺の本堂内に掲げられる「子がえしの絵図」と「孝行和

向かう。秩父市内の武藏屋本店で「セイロ・茶飯セット」をいただく。電車とバスを乗り継いで札所巡り最後の寺34番札所水潜寺へ。当寺は秩父札所霊場打ち納めの札所、また百観音霊場の結願寺。

今回札所巡りに8回34寺結願したのは4名でした。（中島記）

11月の題は「味」  
11月の互選句  
回り道した人間の味のよさ  
相模湾まるごと入れて浜で鍋  
竹田 圭子 実  
インバウンド高価な和食が国際化  
評判の美味につられて並ぶ幸  
試食して断りきれず買わされる  
甘いよりしようばい辛いが飯に合い  
長谷川政策  
荒井 春雄  
(手塚記)

